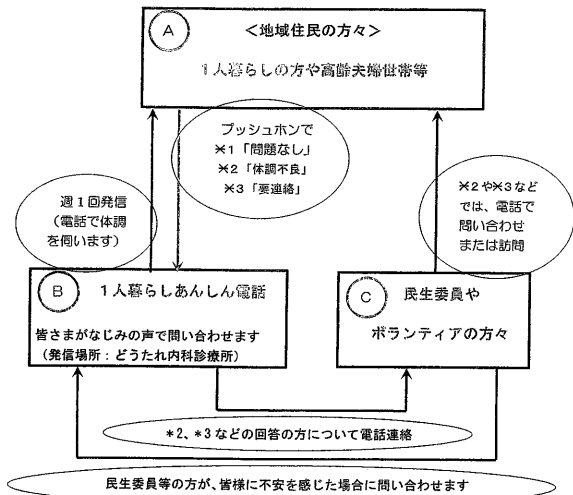


「1人暮らしあんしん電話」の流れ



- #1. ご家族やご親族に連絡した方が良いと判断した場合は、上記の◎または◎から連絡することがあります。
- #2. このシステムは緊急対応するものではありません。緊急時はご自身で判断され、救急車をご利用してください。
- #3. 皆さんのお話しをお聞きして受診が必要と考えた場合は、皆さまがこれまでかかりつけの先生を優先してご紹介します。
- #4. 「これは訪問したり往診したりの方が良い」と判断した場合は、「どうたれ内科」より看護師又は医師が訪問することもあります。

平成24年6月～ 常盤平団地地区 民生委員児童委員協議会  
パソコン設置場所: どうたれ内科診療所 TEL. 394-0600

# 「おたずねフォン」システム開発 堂垂伸治先生協同で



どうたれ式「おたずねフォン」についてはすでに新聞やテレビで広く報道されているシステムです。団地社協では、数多く開発されている各種のシステムや市が以前から導入済みの「緊急通報」システムなどについて本格的に導入可否の検討に入っています。今回は、そうした「システム」のなかでも、堂垂伸治先生(どうたれ内科診療所長)が協同開発された「おたずねフォン」について、聞き取り形式で解説します。

**(問)** 堂垂院長が07年に工学院大学と協力して開発された「1人暮らしあんしん電話」システム「おたずねフォン」って、どんな内容なの?  
**(答)** 工学院大学や(株)数理技研と協力して開発されたのが、その「おたずねフォン」という商品システムだ。

**(問)** その内容はどういう内容になっている?  
**(答)** 連絡を希望するのと、暮らしの自宅へ、週に1回電話をかける。例えば「もしも、こちらどうたれ内科診療所」という堂垂先生の録音音声が入る。ついでに元気なら「マイル」米1、体調不良なら「米2」、連絡が必要なら「米3」のプッシュボタンを押して、安否を知らせる。この押された番号は診療所のパソコン画面に

一覧表示される。この画面を、毎朝一番に堂垂氏やスタッフが確認し、対応するという仕組みになっている。急を要する「米3」の人の自宅には連絡して訪問したり、連絡がとれなければ民生委員やケアマネジャーなどに連絡する。時には家族に連絡したり、診療所から往診して、安否を確認する。こうして患者の病態や日常生活を把握しているから、「何かおかしい」というサインを見落とすことがないという。

**(問)** 外来に通えず、在宅医療も受けていない制度の「すき間」にいる方にとって有効といえる。  
**(答)** 堂垂先生もいうように、当初は孤独死を防げればと考え導入したが、いまはそれよりも、同居高齢者には主治医に見守られているという安心感を与える効果があったと、感じているというのだ。

**(問)** 堂垂先生は松戸に住んで25年。社会貢献活動や医療行為によって、同居高齢者の健康状態を把握している。このように地域に根ざした医療活動ができるのも、開業医の強みといえる。  
**(答)** 私どもがすすめている孤独死を防ぐ活動とも連動しあって、市の介護サービスとも連携して、お互いにそれぞれ上手に結合させていくことが重要だと考える。つまり、大病院であれ

## 堂垂先生招き いきいき大学

「あんしん」システム学ぶ

「常盤平団地では10年にわたり孤独死予防の地域活動に取り組んでいる。「おたずねフォン」システムと協働しながら、ひと暮らしの方々への文字通り、安心に寄り添いたいと考えます。このシステムの導入については、最寄りの民生委員とよく相談してほしい」と話されました。

**医療法人社団緑星会  
どうたれ内科診療所**  
(千葉県松戸市)  
理事長・院長  
堂垂 伸治 氏

1975年、東京大学工学部航空学卒業。79年、千葉大学医学部に再入学し、85年、同大学卒業。同大学医学部第3内科所長。城東社会保険病院、千葉県救急医療センター、千葉西総合病院などを経て、99年、どうたれ内科診療所を開設。2004年12月、あい訪問看護ステーション、06年5月、あい在宅介護支援事業所を併設。日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、千葉大学医学部臨床教授など

団地社協が主宰する「いきいき大学」は、7月21日午後1時から常盤平市民センター(コミュニティ室)で講座を開催しました。

講師は常盤平一丁目熱心に診療活動に励むどうたれ内科診療所院長の堂垂伸治先生(写真)。

堂垂先生は、松戸市内の医療状況を詳しく解説。先進的に取り組んでいる常盤平団地の孤独死を防止する活動を評価しながら、工学院大学と協力して開発した「1人暮らしあんしん電話」システムは、ドクターが直接対応してくれてなおかつ無料という魅力があるという。この種のシステムをつかって「金儲け本位の業者」もいるという。これには注意が必要だといえる。

今回のいきいき大学講座は8月18日(土)午後1時から、松戸市企画管理審議官田辺昌信先生をお招きしています。

テーマは「常盤平団地の魅力づくり」です。新しく受講を希望される方は団地社協へご一報(☎399-3010)ください。

(河野)